

# BreakThrough

～夢に向かって～

第11号

福島県立相馬高等学校第3学年  
令和5年1月23日発行

## 高校生活を振り返る。



先日、中学校時代からの友人で同業者になった女性からびっくりするものもらった。高校時代の校内合唱祭の音源である。しかも1年から3年までの3年間の音源が完全収録されている。Z世代の皆さんからすればたいしたことではないかもしれないが、我々昭和生まれ平成育ちのかつての記録は大変貴重なものである。なぜ彼女がそんな貴重な音源を持っているかというのは話が長くなるので省略するが、私は大変興奮した。20数年の時を経て、10代の我々の声が聞けるのだ。

さて、肝心の音源を聴く。合唱祭の会場は、ポロポロだが響きだけは最高の相馬市民会館。約840人のギャルが一堂に会した大イベントだ。(会場へ行くすがら、当時男子校だった相馬高校旧校舎は歩道に面しており、我々が通るのを心待ちにしていたかのように無数の健男児が窓にへばりついていたのも思い出した。) 当時は「私たちのクラスが一番上手い!」と思っていたが、いざ聴いてみると、驚くほど子どもの声だった。え〜!こんなに下手くそだったの!?とびっくりしたが、音源の向こうの私たちは実に楽しそうに元気に明るく歌っている。サビのところで我々2年6組が軽い手拍子とダンスを始めた瞬間、会場のギャルたちも興奮して「ヒュー!」と拍手喝采の様子。ああ、こんな感じだったのね、と当時のギャルたちのノリの良さに驚いた反面、もう戻れないあの頃を思い出して少し感傷的にもなった。後日、この音源は、私を通して様々な場所で暮らすクラスメイトたちに流出した。海を越えてカナダ在住のSちゃんやKちゃんの所にも届いたようだ。聴いた瞬間は爆笑したらしい。だよねえ!と、その話を聞いた私も嬉しくなった。ああ、久しぶりに皆に会いたいなあ。ちなみに、もらったCDには、全校生徒で校歌を合唱している音源もある。共学化された上に統合校となってもはや聴くことのできなくなってしまった幻の校歌である。(欲しい保護者の方がいらっしゃったらご連絡ください)これもまた楽しそうに歌っている。—— 本当なら相馬高校の校歌だって何かにつけて皆で歌っていたのに、コロナはいろんなことを変えてしまった。

卒業を控える皆に、もう一度高校生活を振り返ってみてほしいと思う。自分の生きた道のどこにウエイトを置くか、何を大切にするかによって、その後の人生のテーマが決まるような気がするからだ。もちろん私の学生時代は楽しいことばかりではなかった。が、「総じて」楽しい思い出として色濃く残っている。人間関係だってアップデートされているし、学生時代の友人関係がずっと維持されているわけではないが、様々な出会いが今の自分を形成していると実感している。過去は戻れないけれど、その積み重ねが現在で、現在の延長線上に未来があるのだ。学生時代に良い思い出がない、あの人にこうされたせいでこうなったとか、そういうネガティブなことを重しにすると、どこに行っても誰と出会っても悪いことにしか着地しないつまらない人になりそうである。だから皆には、一つでも「楽しかった」「輝いていた」「これだけは一生懸命やった」と思うことや「誇り」を見つけてほしいと思う。そのことが、これからの皆の人生の支えになっていくはず。今は絶賛受験勉強中でそんな暇はないかもしれないが…。



### 3月の行事予定

1日(水) 卒業式



【2月28日(火)の登校日について】

表彰式、卒業式予行、同窓会入会式を行います。午前終了予定となっています。式典ですので、服装および頭髪には気をつけてください。

# 令和5年度大学入学共通テスト終了!!

1月14日(土)、15日(日)の2日間にわたって、本校は119名の生徒が試験に臨みました。色々心配されていた天気もさほど悪くなく、比較的穏やかな天気の中実施されました。

2日前には講堂で激励会が行われ、伏見先生とこずえ先生の太鼓に合わせて学年主任の西山先生が受験生にエールを送りました。

当日は、会場となった原町高校の正門前に3学年担任団と佐藤宏志先生が集まり、受験生を激励しました。笑顔ではあったけれども、やはり緊張感たよう受験生に「頑張れ!」と声を掛けましたが、担任としては当日はもうこれくらいしかできないという思いでいっぱいでした。

各教科・科目においては、昨年度難化した傾向からは変わらずでしたが、問題分量が増加傾向にあるのが特徴でした。昨年度大幅に難化した数学は平均点が大幅にアップした反面、生物では過去最低点となりました。

今回の共通テストで自己ベストを更新した人がいる反面、思ったように取れずに悩んでいる人もいます。今後の出願に向けて色々考えるところはあると思いますが、我々3学年は、最後まで皆さんに寄り添います。困ったことや悩んでいることがあれば、担任や教科担当の先生に遠慮なく相談してくださいね。

**未来は僕らの手の中!**です。思った以上に出来て喜んでいる人も慢心せず、そして上手くいかなかった人も過去にこだわらず、気持ちを切り替えて次に進みましょう。



## \*\*\*\*\* 今後の国公立大学への出願、私大および二次試験受験について

冬休み、そして共通テスト終了後に、一般受験者に対して必要に応じて三者面談を実施しました。面談を受けて、担任は連日様々な資料と向き合いながら生徒の進学準備をしてきました。色々悩んだ末に決断した人も多いと思いますが、あとは「とにかく戦う!」という強気の姿勢でいてほしいです。

そのために、まずは**国公立の二次試験の出願にあたって、必要な書類の準備**をお願いします。自宅学習に入るため、担任や他の先生に用事があるときは、必ずアポを取っててください。

また、二次対策や私大対策の課外や個別指導も実施されます。試験まで日はないですが、最後まで諦めずに取り組んでください。

私大受験者は、大体が2月上旬あたりに試験があり、合格発表が約2週間後となっている大学が多いと思いますが、**受験した大学に関しては、合否を必ず担任に連絡してください。**

## \*\*\*\*\* 明日から自宅学習期間です

本日を以て、通常授業期間が終了しました。明日からいよいよ自宅学習期間です。担任としては、朝と帰りのSHRがないのは非常に寂しいところです…。一般受験組は受験期となりますが、内定者は新生活に向けての準備で色々忙しくなると思います。しかし、生活リズムを崩さずに、羽目を外さずに過ごしてください。以下、卒業式までの日程を再掲しますので、必ず確認してください。

日	曜	行事	日	曜	行事
3	金	国公立二次試験出願期間締め切り日	28	火	表彰式、同窓会入会式、卒業式予行
6	月	職員会議(卒業関係)	1	水	令和4年度卒業証書授与式
14	火	学年末考査(~17日)	泣いても笑っても、もう少しで卒業……。担任としては晴れ晴れしく思う一方で、さみしく感じています……。		
25	土	国公立大学二次試験(~28日)			